

# ご利益 豊稔 豊漁 縁結び

はくさん

## 白山(御前峰)

冬になると、その名の通り純白の姿に変わる白山は、富士山や立山とともに『万葉集』に詠まれた日本三名山のひとつ



▲白山登山の最短ルートのひとつ、砂防新道を別当出合から登る

標高2702m  
石川県・岐阜県

### 歩行時間

1日目/約4時間30分  
2日目/約6時間

### 標高差

1452m

### 問合せ先

白山市観光情報センター  
☎076-273-4851  
白山観光協会  
☎076-273-1001

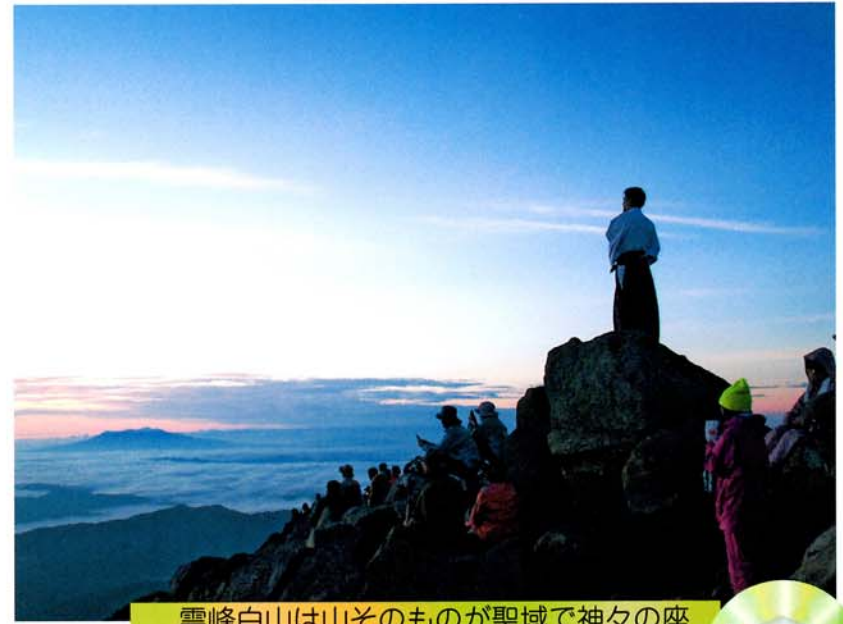
### 登山適期

7月～10月

霊峰白山には古代から山そのものをご神体とした原始的な山岳信仰があり、水神や農業神として里人に崇められていた。白山は夏の一時期を除いて一年のほとんどはその名のとおり白い雪に覆われ、雪解け水は手取川、九頭竜川、長良川、庄川の4本の大きな川となって山麓の農業を支える貴重な水として平野を潤してきた。そのため、源流の白山への信仰がはじまると伝えられる。また、白く輝く山は海からもはっきりと認識することができ、日本海を航行する北前船や漁師にとっては航海や漁場の目印となった。修験者が信仰対象の山岳を**修験の霊山**として日本各地で開山するようになると、原始的だった白山信仰も登拝という形に変化し、多くの修験者が山頂をめざすようになった。

### ご利益行事

毎年7月1日には、白山夏山開きにあわせて、白山比咩神社の奥宮で開山祭が行われる。おごそかな祝詞の中で舞が奉納され、参拝者は白山の恵みへの感謝を捧げ、登山の安全を祈る。白山山頂にある奥宮には祈禱殿や、登山者のための宿泊施設もある。



### 霊峰白山は山そのものが聖域で神々の座

▲白山は、最高峰の御前峰を中心に大汝峰、剣ヶ峰、別山を主峰とする峰々の総称。人々は、雪を戴き、光輝く山の姿を白き神々の座と信じ崇めてきた。北陸地方が「越の国」と呼ばれていた時代、神々しいまでの白い峰を見せる白山を、そこにそびえる白き山という意味を込めて「越のしらやま」と呼び親しんでいたという。御前峰には、ご祭神に白山比咩大神(はくさんひめおおかみ)を祀る白山比咩神社奥宮がある。白山比咩大神は菊理媛尊(くくりひめ)とも呼ばれ『日本書紀』に登場する女神のひとり。菊理媛の「くくり」は「括る」にもつながり、今は縁結びの神様としても人気がある

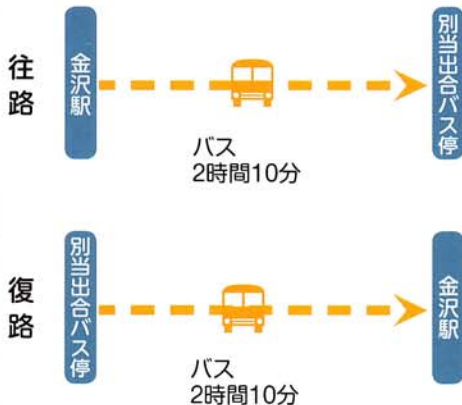
Power Spot

▼御前峰山頂での御来光を拝んだら奥宮にお参りしよう



### アクセス情報

金沢駅からバス利用で





▲別当谷を望む尾根上の別当観

## コースガイド

### 別当出合から白山最高峰の御前峰に登り、お池めぐりへ

白山は高山帯をもつ山としては日本でいちばん西に位置し、高山植物の宝庫といわれている。冬の大量の降雪が夏まで大雪渓を残し、カルデラ湖と湿原が作り上げたなだらかな地形が、規模の大きな雪田植物の大群落を作り独特の高山植物を育んだ。白山を西限とするハイマツやクロユリなど100種類以上が見られ、白山や御前峰の名前を冠したものはハクサンフウロやハクサンイチゲ、ハクサンシャクナゲ、ハクサンコザクラ、ゴゼンタチバナなど、その数は30種を優に超える。白山山頂部には、いくつもの登山道が整備されている。ここでは、山頂部で営業小屋が利用できる別当出合から登って室堂平に宿泊、翌日に御前峰に登頂して火口湖の池めぐりするコースを紹介する。



▲コース途中ではハクサンコザクラが迎えてくれる  
▶山頂部の草原に広がるお花畑



【1日目】 別当出合-1時間→中飯場-40分→別当観-50分→甚之助避難小屋-25分→南竜分岐-45分→黒ボコ岩-40分→室堂平

**別当出合**バス停から白山へは、急登して尾根筋を登る観光新道と徐々に高度をかせぐ砂防新道の二つのコースがある。ここは砂防新道にコースをとる。バス停前の広場には白山国立公園別当出合センターがあり、トイレや水場、休憩所がある。広場の前で観光新道と分かれ、別当谷に下る階段を下りて谷沿いに進んで吊り橋で対岸に渡る。ここから白山室堂までは登りが続く。

ブナ林のなかをゆるやかに登っていくとトイレと水場のある**中飯場**で、その上で砂防工事用の道路を横切り、さらに尾根上の登山道を登っていく。不動滝を見ながらさらに高度を上げていくと、左手のスパッと切れ落ちた崖越しに別当谷を望むことができる**別当観**に着く。ここを過ぎると、樹林の木々はダケカンバやナナカマドに変わり高山の雰囲気になる。石積みの登山道を行くと**甚之助避難小屋**に出る。小屋前にはベンチがあり別山が間近に見えるので一休みするには格好のところだ。避難小屋あたりからキヌガサソウやハクサントリカブトなどの高山植物が見られるようになり、2、3



▲南竜分岐近くに湧く白山延命水

度大きくシグザグを切って登ると南竜分岐に着く。

**南竜分岐**で南竜ヶ馬場やエコーラインで室堂平をめざす道を右に分け、別当谷源流部の斜面を横切るようにゆるやかに登り、黒ボコ岩への登りにかかる。シグザグを切った急登を、登山道わきに咲くシナノキンバイやハクサンフウロなどの美しい高山植物に励まされて登り延命水を過ぎると、弥陀ヶ原の一角にある**黒ボコ岩**に着く。黒ボコ岩は白山が噴出した時に飛び出した大きな火山弾が露出した岩。岩のある弥陀ヶ原は、ほとんど平らな高山植物の多い草原である。

黒ボコ岩で観光新道と合流、コバイケイソウの大群落がある弥陀ヶ原のお花畑をゆるやかに登り、ハイマツのなかを進むと五



▲御前峰を目前に弥陀ヶ原の木道を歩く



▲黒ボコ岩の上に登ると白山が望める

葉坂でエコーラインが合流する。ゆるやかに登っていくと**室堂平**に立つ室堂センターの建物が見えてくる。

【2日目】 室堂平-40分→白山山頂(御前峰)-20分→翠ヶ池-10分→千蛇ヶ池-40分→室堂平-25分→黒ボコ岩-25分→馬のたてがみ-45分→殿ヶ池避難小屋-45分→仙人窟-45分→白山禅定道分岐-40分→砂防車道-20分→別当出合

白山の頂上部にある室堂平には、ハクサンコザクラやミヤマクロユリ、ハクサンフウロ、コバイケイソウなどたくさんの高山植物が見られるお花畑が広がる。御前峰を背にして白山比咩神社の祈禱殿が立っている。

**室堂平**の朝は早い。日の出1時間前に白山比咩神社祈禱殿の太鼓が鳴る。白山では御来光のことを「お日の出」という。御前峰山頂で「お日の出」を拝むなら太鼓が鳴ったら出発しよう。岩の敷き詰められた道を登り、神様の遊び場所といわれる高天原のハイマツ帯の斜面を抜けると、石積みに囲まれた白山比咩神社奥宮のある**御前峰**に立つ。一等三角点がある山頂は奥宮の奥で、すばらしい展望が広がる。東は北アルプス



▲ピシターセンター手前の草原に咲くコバイケイソウ

の山並みで、北西に能登半島と日本海が一望できる。すぐ近くには剣ヶ峰と大汝峰、振り向けば別山がそびえている。

御前峰からは北側の火口底に下って火山地形に点在する火口湖をめぐる、お池めぐりコースへ進もう。溶岩の稜線から火口湖めぐりして下る。剣ヶ峰との間に油ヶ池と紺屋池、大汝峰の下には最大の翠ヶ池がある。室堂平に戻る途中には、いつも雪に覆われてめったに姿を見せない千蛇ヶ池がある。石積み道の道を下っていくと、ハイマツ帯にはハクサンシャクナゲ、草地にはハクサン



▲高山植物保護のためのロープに仕切られたコース

▶豊富な水がたたえられた美しい翠ヶ池



▲静かなたたずまいの千蛇ヶ池

コザクラやチングルマ、ミヤマクロユリなどの高山植物が多く見られるようになる。

室堂平から黒ボコ岩までは前日のコースを下り、黒ボコ岩から尾根筋を下る観光新道に入る。白山開山の祖、泰澄が悪蛇千匹を埋めたという蛇塚を過ぎるとお花畑のなかを下るようになる。ニッコウキスゲやシナノキンバイなどを愛でながら下って、馬のたてがみを過ぎる。だんだん草丈の高い花が咲くようになると殿ヶ池避難小屋に出る。

シグザグに切られた登山道を下って、岩稜を少し登り返すと、観光新道の中間点である仙人窟だ。尾根伝いに階段を下ると、尾根沿いに進む白山禅定道分岐となり、左の観光新道の急坂をシグザグを切って下り、砂防工事用の車道が見えてくると急坂も終わりに近くなる。車道を横断してブナ林を下ると別当出合の広場に到着する。

# 立寄り情報

## 白山室堂

室堂平にある750人を収容できる宿泊施設。白山室堂ピシターセンターを併設し、夏期には白山山頂郵便局や白山室堂診療所も開設される。売店や昼の軽食がいただける食堂もあるので宿泊者以外にも便利だ。

### DATA

☎076-273-1001 素泊り5100円・1泊2食7700円 5月初旬～10月中旬営業



## 白山・天望の湯

白山まるごと体験村にある日帰り温泉施設。露天風呂からは雄大な白山を堪能できる。お湯は白峰温泉の源泉を引いた湯で、浴室の壁には化石の里として知られる白峰の植物の化石が使われている。

### DATA

☎076-259-2010 650円 12～21時(土・日曜・祝日は10時～) 木曜定休(祝日の場合は翌日)



# ご利益マップ

